



01

建築家、工務店、
ハウスメーカーのいずれでも
ない独自の道を拓く

株式会社テラジマアーキテツ CEO 深澤 彰司 さん

従来、注文住宅の依頼先といえば、建築家、工務店、ハウスメーカーのいずれかだったが、そこに「建築家のいる工務店」という新たな道を拓いたのがテラジマアーキテツだ。受注棟数を限定した品質の確保、協力会社でつくる「建心会」、広報部門の設置やSNSを駆使した情報発信などユニークな取り組みも多い。2022年には都内3カ所の拠点を集約して新たな一歩を踏み出した。CEOの深澤彰司さんに話を伺った。

“スタートは東京都下の小さな大工務店”

テラジマアーキテツのスタートは、大工だった寺島由巳さんが1958年に東京・府中で創業した工務店だった。建築デザインを学んだ2代目の寺島茂さんが設計に力を入れたと1992年に建築設計事務所を開設、設計と施工を一貫して担う体制を整えた。現在CEOとして舵を取る深澤彰司さんは、大手ハウスメーカーを経て2003年にテラジマアーキテツに入社した。「社員は6人で年間10棟くらいの事業規模だったが、2005年に駒沢に営業所を移転すると府中とは顧客層が変わった。空間のクオリティに対する期待は大きく、都市の厳しい建築環境の下でも心地よい光や風が感じられるプランが支持されるようになった」と深澤さん。その後2012年には表参道にも営業所を開設、都市型の

洗練された住宅を求める顧客層との接点はさらに拡大していった。

“高い施工品質を守る協力会社組織「建心会」”

「設計・施工一貫体制を強みとし、デザイン力と高水準の施工力をもつ」ことを特長にしたテラジマアーキテツは、設計事務所の弱点と指摘されることが多い施工品質の確保に力を入れ、2006年に協力会社でつくる職人集団「建心会」を発足させた。現在も家づくりに関わる65職種、約450名以上が参加、テラジマアーキテツ専属の施工チームとして切磋琢磨しながら技術の向上を図っている。「どんなにきれいな図面を描いても、最終的に現場で形にするのは職人であり、その技術力とチームとしてのまとまりがなければよい建物はできない」と深澤さんは語る。「建心会は単なる

親睦組織ではない。会長以下、役員も選任し定期的な技術交流会や勉強会はもちろん、抜き打ちの現場ノットロール、年次総会での活動報告や表彰なども行いながらチーム力、施工力を高めている。

建物引き渡し後の建て主の声も建心会を通して積極的に職人に伝えている。一般的には住み始めた建て主の声が現場の職人に届くことは少ない。しかし建心会経由で伝わる顧客からの感謝の声は、職人のモチベーションを高め、次の仕事へとつながっている。

“あえて棟数を制限。一つひとつの仕事を丁寧に”

駒沢、表参道へと営業拠点を広げる毎に受注は拡大、特に2012年、2013年は年間40棟を超えた。「時間が足りず、一生懸命取り組んでも最後は顧客を満足させられずに終わるということもあり、受注棟数目標の改善を行った。ハウスメーカーと競合しているような場合、向こうがこういう提案をしているからうちもこうしようという発想になりがちだったが、それも止めた。私たちの会社は時間と手間を掛けて建て主とコミュニケーションを取り、要望を一つひとつ咀嚼してプランに落とし込んでいるところはない。自分たちのやりかたに自信を持って規格型のハウスメーカーとは違う土俵で勝負しようと思った。

実際、テラジマアーキテツの家づくりは丁寧だった。まず建て主の要望をしっかりと聞き、基本的にはそれをすべて受け入れることから始まる。「建築家の中には、建て主の要望に関わりなく自分の考えに誘導していく人もいますが、敷地環境から明らかにこちらがいいという場合は別として、

建て主の要望は基本的に実現する。生活の感覚や生活文化はこだわりがあり、しかも建て主はそこで何十年と暮らしていく。要望は受け入れたうえで、プラスアルファの提案をしていこうと考えていた。

こうしたスタンスで臨む打ち合わせや提案への建て主の満足度は高く、棟数を減らしながらも高い利益率を確保することにつながった。現在も年間20棟から多くても25棟という範囲で事業を継続している。顧客の年齢層は40代後半から50代の医師や企業役員などが多くOB顧客からの紹介も多い。「私たちの家づくりに何か特別なことがあるとは思わない。ただ一棟一棟の建て主に誠実に向き合い、すべてについて手間を惜しまないという心をかけている。それができる時間を確保し、仕事がしやすい環境をつくるのがマネジメントの大きな仕事だと思っている。



取材・文：酒井 新
写真：栗原 倫

DATA

株式会社 テラジマアーキテツ
東京都目黒区自由が丘 2-10-4
ミルシェ自由が丘 6階
TEL:0120-20-5431
<https://www.terajima.co.jp/>
従業員:35名
設立:1993年
(2002年に現社名に変更) / 創業1958年
棟数(平均):20棟

“事業拠点を集約し、社内コミュニケーションを強化”

2022年夏、テラジマアーキテツは都内3カ所の営業拠点を自由が丘に集約した。そこにあったのは、もってクリエイティブな力を持つ組織に高めていきたいという



都市部のラグジュアリーな住宅を得意とするテラジマアーキテツの実例から。

街並みになじみつつもモダンさが際立つファサードが印象的なY邸。
中庭となるテラスを囲むL字型のLDK(写真右)は石張りの壁や光沢のあるタイルなどで異色の違う素材を組み合わせて空間にリズムを生み出している。
ホテルライクなインテリアを希望する施主も多いという、標準仕様やオプションは基本設けず、施主の希望ひとつひとつに応えるスタンスだ。